

# シユーズバッグ開発

通信制の第一学院高岡山キャンパス（岡山市北区錦町）の生徒が、倉敷市児島産デニムを使ったシユーズバッグを開発した。企画からデザインまで自分たちで手掛けた自慢の品で、販売も予定している。

デニムとシユーズバッグをかけて「デニッシュバッグ」と命名した。小ぶりの陸上競技用スパイクからバスケットボールシユーズまで入るよう、縦32・5センチ、横44センチと大ぶりに作った。アクセントで学校のシンボルカラーのオレンジ色をあしらった。素材は地元ジーンズメーカーの生産過程で出た端切れを活用する。

応援グッズにもなるよう、バッグには「GO OKAYAMA」と大き

## 岡山・第一学院高生 児島産デニム使用



くプリントしている。サ観戦で、頭上に掲げてツカーやバレーボールとスタンドからの応援にいった地元チームの試合 使ってほしいと呼び掛

児島産デニムのシユーズバッグと、開発した生徒たち

## 「地元チームの応援に」

ける。

実践的なビジネスを学ぶ授業を選択している1〜3年生9人が開発。「格好良いグッズがあればスポーツが楽しくなり、関心が高まる」と取り組んだ。

開発に当たり、児島のメーカーを訪ねてジーンズ作りを体験。デニム生地の色味をじっくり吟味するなど、随所に生徒たちの思いが込められている。

3年久保篤史さん(18)は「岡山らしくおしゃれなバッグができた。スポーツ観戦にもぜひ持って行って」エアピールする。バッグは2月から、スポーツ用品店MOMIJIYA FC（岡山市東区西大寺南）や学校のホームページを通じて販売する予定。価格は5500円（税別）。収益は、発展途上国の教育向上に役立てる。

（大橋孝平）